

# 茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

2005年度年間暗誦聖句 (こどもさんびか2番)

この水をのむものはだれでも、またかわくであろう。しかし、わたしが与える水をのむものは、いつまでも、かわくことがないばかりか、わたしが与える水は、その人のうちでいずみとなり、えいえんの命にいたる水が、わきあがるであろう。

ヨハネによる福音書 4章 1

3～14節

2005年は3月27日がイースターでした。毎年、教会学校では朝8時から朝食会を行っています。イースターエッグを探して、ウサギ・パンとコーンスープにイチゴの朝食を頂きます。今年は本年度最後の日曜礼拝と重なり、表彰式もありました。今回は当日の様子を小学5・6年担当の安田雄子先生が報告します。



## 2005年CS イースター朝食会レポート



イースターおめでとう！「見よ、わたしは、世の終りまで、いつもあなたがたとともにいます」(マタイ 28:20)。3月に入り、私たちは、小学科、ジュニア科いっしょにイースターのリース作りをしました。白い紙皿のリースに、それぞれの作り方のお花をつけます。男の子も、お花を工夫して楽しそうに作っていました。26日土曜日の朝早く、麗子先生が150個のたまごを大きな鍋でゆでて下さり、たまごが冷めてからセロファン紙で1個ずつ包みました(写真参照)。礼拝堂の壁には、白い紙で作った百合の花と、みんなで作ったリースが飾られ、イースターを迎える準備ができました。お家で、イースター朝食会のポスターを書いてきてくれたお友だちの可愛らしい絵もすてきでした。



1週間前の20日、受難週の大人の礼拝の中で、会衆讃美(#56 ゆるすためです)の伴奏をクワイア・チャイムでさせて頂けたのも、うれしいことでした。

27日、イースターの朝です。8時に礼拝堂で、森本校長から、わかりやすくイースターについてのお話を聞きました。そのお話の中で、イースターのたまごやひよこ、うさぎ、百合の花はそれぞれ意味があって、イースターの飾りに登場することがわかりました。その後、たまご探しをしました。これは、

毎年、子どもも大人もとても楽しいひとときです。両手に抱えきれないほど、たくさん見つけた人もいました。

明るい朝の陽射しのサンルームのテーブルの上には、うさぎパン、ゆでたまご、イチゴ、ベジタブルスープがおいしそうでした。

熊谷牧師の感謝のお祈りがあり、みんな(熊谷先生、麗子先生、子ども、大人、絵本大好きの会のメンバーの1歳の赤ちゃんとお母さん)でいただく朝ごはんは特別おいしかったです。



9時からイースター礼拝。この日は稲津先生がマタイ28章からお話をして下さいました。表情豊かな稲津先生のお話は、いつも私たちの心にしっかり残ります。よみがえられたイエスさまは、今も私たちと一緒にいて下さることを、心から感謝します。(安田雄子 記)

## 2005 年度 CS 教師任職式



2005 年 3 月 27 日のイースターを前に 3 月 20 日の礼拝式において熊谷徹牧師の司式により 2005 年度の CS 教師任職式が執り行われました。本年度のスタッフ詳細は教会学校だより春の号,教師紹介号をお楽しみに。また当日は CS 生徒によるこどもさんびか 56 番『ばんゆるすためです』がクワイアチャイムの演奏と共に讃美されました。(森本 成 記)

### 編集後記 (April,10th.2005 Updated)

今回は大変にぎやかに行われたイースター朝食会のレポートをご紹介します。4 月からは新学期がスタートします。教会学校でも新クラスで 1 年間聖書の学びを行います。7 月には楽しい夏期学校も予定されています。幼稚科から成人科まで,毎週日曜日の 9 時から皆さまのご参加をお待ちしております。(森本)

